

新 高梁人名録



くまた あたか 氏
熊田 恰 (1825~1868)

熊田恰は、幕末期の備中松山藩に仕えた剣術師範であり、藩政に深く関わった人物です。藩校「有終館」で学び、新陰流の剣術を修め、藩主・板倉勝静の護衛役としても活躍しました。熊田は、藩政改革を推進した山田方谷の教えを受けた人物でもあります。方谷が藩で進めた改革により命を狙われた際、熊田は藩命を受けて方谷の護衛を担当しました。その際、部下の動揺に対して「藩侯第一の宝を守るのは、馬前の討ち死にと何ら変わらぬ」と語り、忠義の本質を示した逸話が残っています。

1868年、鳥羽伏見の戦いで幕府軍は敗北し、備中松山藩は「朝敵」とされます。熊田は藩主板倉勝静の命を受けて藩兵150余名を率いて玉島へ退却をするのですが、岡山藩兵に包囲されるといいう危機に直面しました。この時、藩の恭順の証として熊田に切腹が命じられたとされ、熊田は西爽亭（玉島の旧柚木家住宅）にて自刃します。それにより、玉島の町は戦火を免れ、藩兵の命も救われました。彼の忠義と犠牲は玉島の人々の心を打ち、後に玉島の羽黒神社境内に「熊田神社」が建立され、神として祀られることとなります。



西爽亭（旧柚木家住宅）

す。熊田恰の生涯は、武士道の精神と藩への忠誠を実践したものと、幕末史の中でも特筆すべき存在です。熊田恰の剣は、ただ敵を斬るためのものではなく、藩を守り、人を守り、そして備中松山藩を陰で支える盾でもありました。

今号の表紙

高梁市立川上中学校

川上中学校3年生は、12名のクラスです。少人数ならではの温かく穏やかな雰囲気の中で、互いの個性や意見を尊重し合い、助け合いながら学びを深めています。

今年度は生徒一人ひとりが「夢や希望をもち、粘り強く課題解決に取り組む生徒の育成」というテーマで、日々の授業に向き合い、仲間とともに成長し、充実した学校生活を送っています。



あとがき

議員となり一年が過ぎました。日々はあっという間に過ぎ、地域の課題に向き合う毎日ですが、市民の皆さまからすれば「何がどう変わったのか」と問われる一年でもありました。

委員会活動や議員、市民との協力の中で、議会を少しでも身近に感じていただけるよう、動画配信や紙面づくりに工夫を重ねてきました。

これからも議会に関心をお持ちいただき、市民の皆さまと地域の未来を共に考える場をつくっていきたいと思います。

(長田 伸彦)

12月の定例会スケジュール

11/28	金	本会議（議案の上程）
12/4	木	本会議（一般質問）
5	金	本会議（一般質問）
8	月	本会議（一般質問）
10	水	本会議（議案質疑）
11	木	委員会
12	金	委員会
15	月	（委員会予備日）
18	木	本会議（採決）

※12月定例会への請願・陳情の締め切りは11月20日(木)までです。
※日程は変更となる場合があります。
正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- 議会広報公聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 川上 博司
委員 宮田 好夫
委員 藤岡 善行
委員 前野 洋行
委員 川上 雅美
委員 長田 伸彦



高梁市議会ホームページ
アクセスはこちらから

